

第3回栗山町立小中学校適正配置計画検討委員会 議事録

令和6年8月22日（木）18：30～19：13

栗山町総合福祉センター 中ホール

- 出席者 検討委員14名 ※欠席者4名
事務局員 2名 ※学校教育課主幹、学校教育課主事
- 傍聴者 1名

1 開 会

2 あいさつ 相馬委員長

- ・お足元が悪い中、ありがとうございます。北海道教育委員会の取り組みと、北海道文教大学の取り組みの宣伝になりますが、「草の根教育実習」という事業を行っております。これは、教諭を目指している大学生が小規模校の複式学級で5日間程度体験するというものであり、今年度も北海道教育委員会よりリストが来たため、学生に照会したところ、継立小学校への希望者が1名おりました。9月10日頃から5日間、学校へ行ってきます。2年前にも、本校より2名がお世話になり、実際に複式授業を体験したり、子どもたちとゲームを進行したり、大変良い経験ができ、教諭になりたいと気持ちがより高まったと思います。通常の教育実習は1クラス30名程の大規模校で行うのですが、大学のカリキュラムの中に小規模校を体験するということが設置されていないです。自主的に参加することを求められており、小規模校における、きめ細かな教育・授業の中で、どのように集団活動を盛り込んでいくのか。大規模校における、指導はどのようにするのか。小規模校にも大規模校にもメリット・デメリットがあるので、それぞれに対応できる力を持って、教諭になって欲しいと日頃から、指導しているところです。継立小学校で、草の根教育実習ができることに感謝申し上げます。

今後、継立小学校が、栗山小学校と統合した場合においても、引き続き、栗山の小学校で体験させてもらえること、子どもたちの接し方について学ばせてもらえる機会を引き継いでいけたらと思います。栗山町と本学で包括連携協定を締結しておりますので、継続していきたいと思います。

進行：委員長

3 経過報告

- ・ 令和6年6月26日 第2回検討委員会開催
- ・ 令和6年7月2日～令和6年7月23日 パブリックコメント実施

4 協議事項

(1) 栗山町立小中学校適正配置計画策定に関する提言書（素案）について

[資料1](#) [資料2](#) [資料3](#)

[事務局]

- ・ 協議事項に入る前に、前回の検討委員会で配布しました計画素案の内容について、一部表記誤りがありました。修正箇所につきましては、事前配布いたしました配布資料1「計画素案の修正箇所について」のとおりですのでご確認をお願いいたします。それでは、協議事項に移らせていただきます。
- ・ 当初の計画では、本日は、パブリックコメントを踏まえた計画案についてご協議いただく予定でしたが、パブリックコメントの結果については、事前配布しております資料2のとおり、計画案に修正の必要がない意見が3件提出されたのみとなっております。そのため、計画案については、前回の検討委員会でご承認いただいた内容となります。
- ・ そこで本日、委員のみなさまにお願いしたいことは、次回の検討委員会後に、教育長へお渡しする提言書に関するものとなります。
- ・ 前回の検討委員会でも、統廃合等の実現に関して心配されるお話が出ておりましたので、今後、具体的な協議が行われていく中においても、実現に向けた委員の皆さまの想いをきちんと伝えていきたいと考えております。そのため、この後、委員お一人ずつから、子どもたちのための理想的な学校環境の実現に向けて、ご承認いただいた計画の中で重点的に配慮をお願いしたい点についてお話しいただき、その内容をまとめて提言書に盛り込んでいきたいと考えております。
- ・ 提言書の最終案については、次回の検討委員会でご協議いただく予定ですが、参考イメージとして、これまでの協議経過を踏まえた内容の提言書素案を資料3のとおり作成しております。あくまでイメージとしてお目通しください。
- ・ 事務局からは以上です。よろしくお願いいたします。

[委員長]

- ・ 提言書について、冒頭の前書きというのでしょうか、とても重要であり「はじめに」と書いているところに、皆様の想いや意見なども反映できるかと考えています。先程、事務局より話があった通り、委員の皆様から、子どもたちの為の学校環境の充実に向け、重点的に配慮をお願いしたいということに関して、今回の配置計画で

提言されている関係性において意見を伺いたい。

[委員]

・私は、委員の皆様から頂いたご意見を十分に反映させて、この先進めていかなければならない立場にありますので、できるだけ皆様の率直な意見をお聞きして、十分に検討を重ねて進めていきたいと思っております。大半の意見が、学校をまとめていかなければならないという考えかと思えますけれども、他の件に関しては、まだまだ協議する必要があると思えますので、“急いでは事を仕損じる”ではありませんが、十分に時間をかけて検討していきたいと思っております。

[委員]

・この検討委員会が、皆様のご意見を頂けるとても良い機会で、なるべく町民の皆様の希望に沿った形が大事かと思えますので、忌憚なく皆様のご意見を聞かせていただければと思います。今、目の前にあることだけではなく、この先、何年間も続くわけですから、ある程度、長い目で見た計画を考えていきたいと思えます。合理的な考え方等もあると思うので、それだけではないですが、先々のことを見据えて考えていきたいと思えます。

[委員]

・昨今、全国的に少子化が進み、学校の適正配置も全国的な問題になっています。栗山町も、見習って進めていかなければならないと思えます。子どもたちの教育活動の多様化、人間関係の構築、社会性の向上等のほか、少子化のペースも考えて、これから検討していかなければならないので、皆様の意見を参考にして進めていければと思います。

[委員]

・栗山町に限らず各地方で人口減少が進み、この問題は身近な話だと思っております。私としては、人口減少という問題はマイナスイメージがありますが、是非「チャンス」にしていきたい。小学校において、継立小、角田小、栗山小、どの小学校を見ても現代の生活スタイル、現代の教育環境から相当遅れていると感じております。今は、共有スペースがあったり、フリースペースがあったり、様々な活動ができるようになったり、雰囲気もとてもオープンな学校が増えてきています。これを機会に町民の皆様から意見を集めて、少しでも時代にあった教育だけではなく、防災なども含めた学校づくり、そして、地域が活性化していけるように、危機をチャンスに持っていけるように皆様の意見を頂いて、私自身も意見を共有して進めていけたらと思っております。

[委員]

・長沼町で新しい小中学校をつくるようですが、先んじて進めている学校を見学するなどして検討したら良いかと思えます。栗沢小学校を見ると、何十年も前ですが「壁のない小学校」というモデル校になっていた。そういうところも見ながらでも、

どういう風に進めていくかを考えた方が良いと思います。小中学校の親御さんの考え方や、これから子育てをする方たちも入れながら、学校をユーマアにしていけたらと思いますし、実現できたら良いなと思います。

[委員]

- ・ 統廃合については、人口減少、子どもの数が減っている中で、やむを得ないと思います。前向きな方向で考えていくかと思いますが、数の原理や、寄せ集めのようなネガティブな統廃合はよろしくないと思います。子育て世代の移住希望者は、教育環境に対して関心の高い方が多く来られます。今の小学校3校、中学校1校でも、良い環境ではあると思いますし、教育に予算をかけている町だと思います。今まで通り、教育に対して予算をかけてくれる町であって欲しい。栗山町独自の教育の水準を担保していけるような学校環境にしてもらえたらという願いがあります。他の学校の事例があるかと思いますが、統廃合するのであれば近隣市町村が羨むような教育をどのように施していくのか、どういう学校の構造にしていくのか、子どもたちにとってどういう影響をもたらすのかというところを熟慮した状態で、今後の検討して下さる方々に託したいと思っていました。

[委員]

- ・ 検討委員会でまとめた意見に沿って早急に進められたら良いという考えがあります。早くに学校を統廃合していかないと、子どもたちにどういう影響が出てくるのを見ながら進めていかないといけないと思います。他の小中一貫校や統廃合している学校の良いところをもらいつつ、子どもの人数が減っても、おもしろい栗山町の小学校、中学校ができれば良いなと思っています。

[委員]

- ・ 主役は子どもたちであると思いますので、楽しく、沢山勉強ができて、そして、統廃合すれば友達も沢山できると思う。そういうことを、各関係機関の方々に色々と考えていただいて、未来の子どもたちの為に、大人目線ではなく、子どもたちがどうしたら楽しめるのか、楽しんで勉強ができるのかということを中心に考えていけば良いのではと思っています。私は、地元の小学校、中学校、高校と過ごしてきましたが、それぞれの学校に良い思い出があって、「懐かしいな」とか「昔に戻りたいな」と思う時もあります。子どもたちにも大人になった時にそう思えるような学校をつくっていただければ幸いかと思っています。

[委員]

- ・ 小学校3校の統合は既定路線として早めの実現した方が良い。1回目の検討委員会の時に自分の話をさせていただきましたが、全校50人程度の小学校から早く大きい学校に行きたいと思っていたので、統廃合は第一に進めていただきたい。小学校が1校になった後のことを考えると、恐らく各町に1校の学校も成り立たない時代が来るのではないか。実際に高校は由仁町、南幌町から無くなっている。

市町村が違うので、予算も何から何まで違うのなどの課題はあると思いますが、隣の由仁町、夕張市も含めて将来的に市町村界を越えた統廃合ということも考えられるのではないかと。将来的には、今よりも子どもの数がどんどん減っていくのは目に見えていると思う。未来の話にはなりますが、今の小学校3校を統廃合することだけに重きを置かないで、もっと未来的なことも含めた統廃合の在り方を頭の片隅にでも置いていただけたらと思います。

[委員]

- ・自分の子に統廃合したらどう思うか聞いたら「友達が増えるから良いな」と言ってきました。子どもたちは統廃合することを良いと思っていると思います。

学校について、もし、新築や改修をするのであれば、トイレを清潔なものに変えて欲しいということが親からの願いです。コロナ等があって衛生面が気になるところで、どこの小学校もトイレはあまり綺麗ではないと思います。掃除がしやすく、清潔な状態を維持できるようなトイレにして欲しい。昔、幼稚園の見学に行ったときに、今はジェンダートイレというものがあった。今後はそういうトイレになっていくのかなと思いました。

自分の子は活発な方だが6月頃に学校に行きたくないと言う時期がありました。そういう時に、どこへ相談したら良いのかと悩んだことがあります。子ども、親からも相談できるスクールカウンセラーを設置してもらえたらなと思いました。校舎を新築や改修するとなったときに、教室数が減ることで学校自体が小さくなるのではないかと考えていて、なるべくゆとりのある教室がいいと思います。前に町外の学校にいましたが、教室くらい広い廊下で、みんなで休み時間に活動したりお話ししたりできていました。

それと、今の栗山小学校は、各教室に2つくらい蛇口がありますが、絵具や習字の墨は洗わないという方針のようで、汚れたまま持って帰ってくるので衛生面でも水場があれば良いと思いました。

また、学校ではないですが、栗山町にプールがあって良いなと思っていて、町外のプールに通っているお母さんから10コースもあるプールはないという話を聞いたので、このプールは無くならないで欲しい。もう一つ欲を言えば、なるべく長い期間使用できるプール、例えば温水プールにさせていただいて、子どもたちがプール教室で体を鍛えたり、今、喘息の子が多くいて、プールは肺活量をあげるのも良いと言われているようなので、そういう教室があって、健康な子どもが育つ環境があっても良いと思いました。

[委員]

- ・栗山町第7次総合計画に、令和10年度には人口は1万人を割り、高齢化率も44.4%という推計が出されております。そこに至って、第1回目の意見交換の場で、栗山町の教育ビジョンとしてどのようなことを掲げられているのか質問させ

ていただいたのですが、「過去に学び 現在を生き抜き 夢と志を持って歩む 栗山の子」という目標を掲げているというところで、是非、栗山の教育の推進を図り、そして、PDCAも実施して、もっともっと魅力のある学校をつくって欲しい。特に学校の内容や適正配置を決めるのは、私たちだけではないと思います。どういう子どもたちになってもらいたいかというビジョンを考えることが非常に大事だと思っているので、私としては、この教育ビジョンを実現していただければと思います。

[委員]

- ・統廃合について当事者であります。継立小学校の運動会を見ても、1年生が2人で走っている。当事者として子どもたちが可哀想です。継立地区としては当たり前のこととして統廃合をして欲しいということです。その点は教育長にも伝えて欲しい。それと、やはり親だと思います。今回、盆踊りを行いました。継立では49名の小中学生の子どもたちが参加してくれました。その中で仮装して踊ってくれた子が20名。大人が40名参加してくれました。これはPTA会長をはじめ、親が自ら仮装をしてくれたお陰かだと思います。これは親が頑張っていかなければやっけないと思う。

それと教育委員会にお願いしたいことは、継立地区の場合はお祭りと盆踊りのことです。統廃合した場合に、先生から「継立の子だけ特別扱いできない」と言われると思います。早い時間に学校を早引きさせて欲しいというわけではなく、例えば、今日は部活を休んでお祭りやお神輿に行っておいでとか、そう言ってくれば、私たちはその時間に合わせて行事をやっていきますので、その辺のところは配慮をお願いしたい。

それと心配なのが6年後。7年目から本当に子どもがいなくなるので地域でどうやって頑張っていくかが大切かと思う。この様な状況を地域の親御さんたちにも伝えていかなければならないと思う。

[委員]

- ・私は地域のことしかわからないが、7月29日から8月9日までラジオ体操をしました。1週目は子どもたちが来なくて、2週目にやっと3人の子どもたちが来ました。教育委員会は、どういう指導をしているのかなど。私はもう80歳近いですが、足腰が痛くても朝6時半にはラジオをつけに行かなければならないので、5時位に起きて段取りするということを10日間行いました。そんなことで8月18日の北海道新聞に、室蘭市の小中学校の止まらぬ統廃合という記事が載っていました。室蘭市も20年間で半分になってしまったことを新聞で読み、栗山町だけではないのだなと思いました。

歴史って何だったかを最近真剣に取り組んでますが、歴史というのは「人間社会が経てきた流動・変遷の姿や、その記録、移り変わり」ということだと思います。

栗山町は明治21年に宮城県の角田藩士 泉麟太郎氏が入植されました。それから今日まで135年が経ちます。栗山町が町政施行されたのが昭和24年、今年で75年になります。歴代の町長は8名いますね。藤田さんから始まり沢崎さん、則武さん、桂さん、佐藤さん、、、と色々な方がおりますが、この中でどれだけの皆さんが苦勞されたか、栗山町の教育行政に対して、学校をつくったり、閉鎖したり、統合したり、苦勞されたんだと考えております。大正9年の10月に初めて国勢調査を行ったときに、当時、栗山町ではなく角田村です。人口15,406人という今考えるとものすごい数ですよ。今の栗山町は1万人ちょっとですから。大正9年で、そんなに居たんだということです。そういう流れで教育行政に携わって努力されてきたんだと思いました。これを委員会の中でどういう判断をして決めていくかということになりますが、地域の皆様の意見を充分に取り入れながら、地域と行政が理解しあい、信頼しあった中で作り上げていくことが大事だと申し上げたいと思います。

[委員長]

- ・ありがとうございます。大変、皆様方の想いが伝わるコメントが分かりました。内容の復唱などは致しませんので、このまま記録として残し、重要なところや、皆さんの最大公約数を拾った形で、提言書の前書きのところに活かしていきたいと思っております。ありがとうございました。事務局で提言書案をまとめ、次回の検討委員会で最終確認をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

5 その他

(1) 次回(最終)の検討委員会日程について

令和6年9月30日(月)～10月4日(金)

時間＝18:30～、会場＝総合福祉センター「しゃるる」で調整

※検討委員会終了後、提言書の手交式を行います。

令和6年10月2日(水)を第一候補で調整。

6 閉 会

19:13終了